

人権の歴史と日本国憲法 1

<人権の歴史>

人権思想

17～18世紀に人権思想が発達する。

- ① : 「^{とうちにろん}統治二論」を著し、抵抗権を説く。
 - 個人の生命、自由、財産などは誰にも侵すことが出来ない。
- ② : 「③
」を著し、人民主権を説く。

 - 国の権力はもともと国民自身のもの

- ④ : 「⑤
」を著し、三権分立を説く。

 - 権力の^{らんよう}濫用を防ぐために

市民革命と人権思想

イギリス

1215年 イギリス議会は ① を発表。

- 国王の権力を制限する。

1642年 ^{せいきやうと}清教徒革命

1689年 ②

- 国王に国民の権利を守らせる。

アメリカ

1775年 独立戦争が起こる（イギリスの植民地だった。）

1776年 アメリカ③

- 「我々は以下のことは自明の真理であると信じる。人間はみな平等に創られ・・・」

フランス

1789年 フランス革命が起こる

フランス④

- 「人間は生まれながらに自由で平等な権利をもつ」

ドイツ

1919年 ⑤ が制定される。

- はじめて社会権を保障

第二次世界大戦後

1948年 ⑥ が国連で採択^{さいたく}される。

日本

1889年 ⑦ 憲法が制定

- 天皇が恩恵によって与えた「⑧ の権利」→人権は法律で制限される。

<日本国憲法 1>

憲法と立憲主義

憲法は「国の① 」

- 国の最高のきまり。
- 憲法に違反する法律や命令などはすべて② 。

③

- 政治権力から人権を守り、保障していくために、憲法によって政治権力を制限するという考え方。

政治が人の支配でなく、法の支配に基づいて行われる。

日本国憲法の制定

1945年 日本はポツダム宣言を受け入れて連合国に降伏

日本政府は憲法改正の案を出す。←GHQ が拒否

GHQ の作成した草案に基に改正案

- ① 年 月 日 公布（内容を広く一般に知らせた日）
- ② 年 月 日 施行しこう（実際に効力が発生した日）

大日本帝国憲法との違い

	大日本帝国憲法	日本国憲法
主権者	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>
性格	<small>きんてい</small> 欽定憲法（天皇が定める憲法）	③ <input type="text"/> 憲法（国民が定める憲法）
人権	臣民の権利、法律で制限できる	④ <input type="text"/> として保障される

日本国憲法の3つの基本原則

日本国憲法の3つの基本原理

- ① ： 国のあり方は国民が決める
- ② ： 戦争を放棄して国際協調を目指す。
- ③ ： おかすことのない永久の権利として保障

解 答

*表記法は教科書で確認してください。

<人権の歴史>

人権思想

- ① ロック ② ルソー ③ 社会契約論 ④モンテスキュー ⑤法の精神

市民革命と人権思想

- ① マグナ・カルタ ② 権利章典 ③ 独立宣言 ④人権宣言 ⑤ワイマール憲法
⑥ 世界人権宣言 ⑦ 大日本帝国 ⑧ 臣民^{しんみん}

<日本国憲法 1>

憲法と立憲主義

- ① 最高法規 ② 立憲主義

日本国憲法の制定

- ① 1946年11月3日 ② 1947年5月3日

大日本帝国憲法との違い

- ①天皇 ② 国民 ③ 民定 ④基本的人権

日本国憲法の3つの基本原則

- ①国民主権 ② 平和主義 ③ 基本的人権の尊重